

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 21号)

2021年 4月 1日発行
 兵庫のみ研究所

キートセロスやスケルトネマ等数種の珪藻が確認されますが、発生量は全般に少ない状況です。窒素は、陸水等の影響が見られた地点を除き江井ヶ島以東で1 $\mu\text{g-at/L}$ 台半ば前後、魚住以西では1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場内平均11.9 $^{\circ}\text{C}$ 。昨年比0.5 $^{\circ}\text{C}$ 低く、平年比0.4 $^{\circ}\text{C}$ 高い。(塩分) 平均31.76psu。前回 (31.80) より約0.04psu 低い。
 (栄養塩、珪藻) 別府～高砂周辺でユーカンピアが海水1mlあたり100細胞前後見られやや増加している。同域においてそれ以外の珪藻は確認される程度と少ない状況。一方、明石海峡から林崎新漁場中央にかけてはスケルトネマやキートセロスが散見された。神戸市地先においてもこれら珪藻の大量発生が見られており、その影響から明石海峡部の窒素は1 $\mu\text{g-at/L}$ 台半ばの値であった。今回調査は潮時が上げ始めであるものの、明石海峡部周辺海域の窒素が低調なことからこの海域全体的な窒素は前回 (3/24) 調査と比較し減少している。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.0	11.9	11.5	12.4
窒素	2.8	1.7	3.2	4.2
リン	0.33	0.26	0.26	0.36

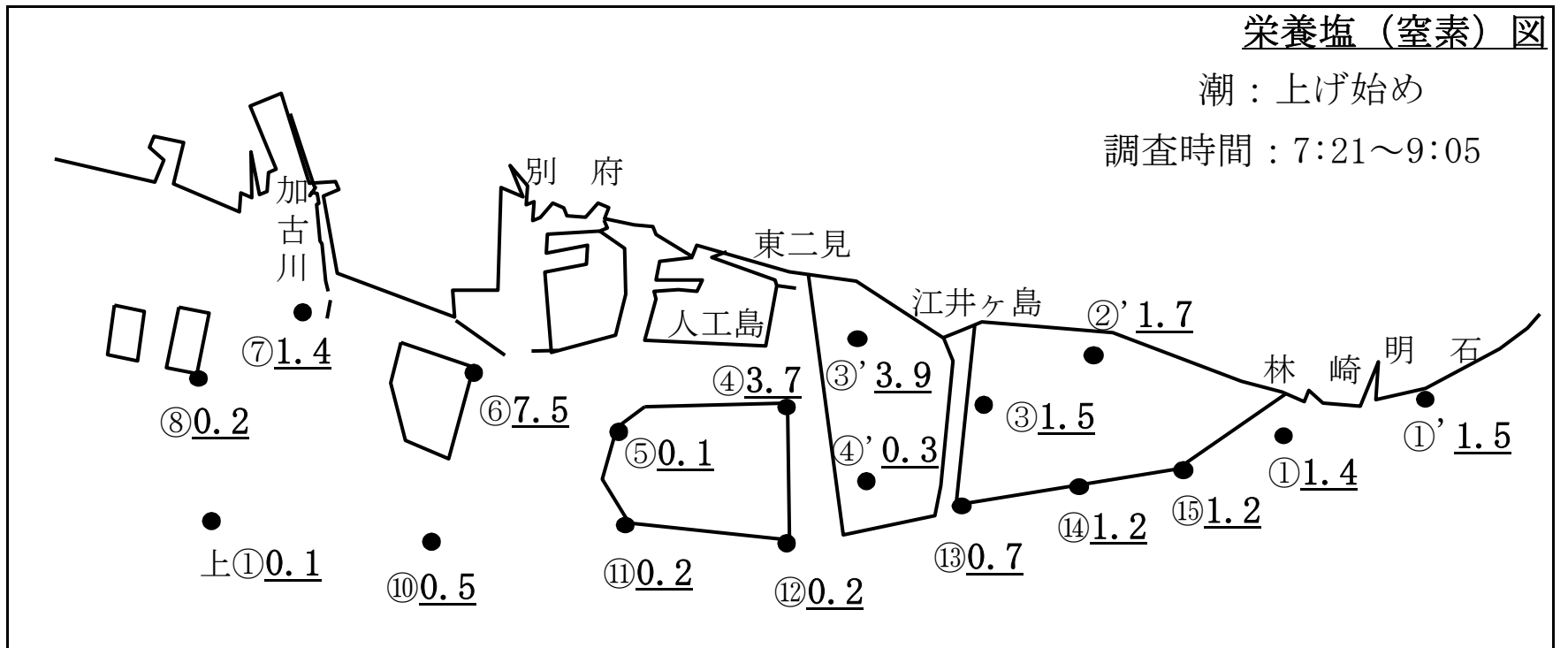
(3/24) (3/13)

2021年 4月 1日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ始め

調査時間：7:21～9:05



水温図

